1 学年 プレゼンテーションコンテスト

 \sim SDGs from the World \sim

2月9日(火)、1学年プレゼンテーションコンテストを実施しました。

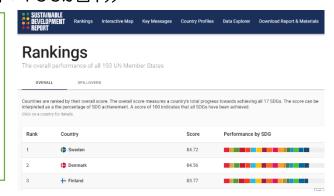
今回のテーマは「SDGs from the World」です。

SS 探究 I の時間では、1 O月から道南地域が抱える問題や、道南地域を活性化させるための方策wp 「SDGs の1 7のゴール」の観点から考え、グループごとに問題の解決策を考えています(3月に他のグループとレポートを共有し、情報の交換を予定)。

そこで SS 英語表現 I では、世界の15の国に目を向け、「SDGs の17のゴール」の観点から、諸外国が抱える問題や先進的な取り組みについて調査し、問題の解決策の提案や、日本に導入すると良い取り組み、日本が支援する方法について考察し、グループプレゼンテーションを行いました。

●調査した15の国(数字はSGDs ランキング(2020年:166か国中))

スウェーデン 2. デンマーク 3.フィンランド
フランス 5. ドイツ 31. アメリカ合衆国
中国 57. ロシア 70. トルコ
シンガポール 117. インド 136. エチオピア
パプアニューギニア 165. 南スーダン



13. イギリス 17. 日本 21. カナダ

活動の最初に ALT の出身国(イギリス・カナダ)と日本について ALT と JTE によるモデルプレゼンテーションを実施。1年生にしては難しい取り組みのため、リサーチの仕方、情報の収集の仕方やまとめ方などは時間をかけて全体説明を行い、その後は振り返りシートを毎時間回収して、随時個別にアドバイスをしました。また、今回のプレゼンテーションでは、英語の文献(ウェブサイトや本など)を必ず1つは調べるようにし、「生きた英語」に触れる機会を取れるようにしました。

●ゴールの設定の仕方

166. 中央アフリカ

担当する国の強み・弱み、最近改善が著しいなど、各国の SDGs ランキングで特徴的なゴールに焦点を当てたり、生徒自身の進路希望に合わせ、興味・関心があるゴール(例:教員志望であれば、No.4 Educationのゴールを選び、担当国の教育事情についてリサーチをするなど)を設定しました。



●活動時間:(10月中旬~2月上旬)

- ・活動全般の説明+教員によるモデルプレゼン+担当国決め 併せて2h
- ・担当ゴール決め+役割分担決め
- ・担当国と担当ゴールについて情報収集

3h~4h

プレゼン原稿の作成
12月中旬~冬休みに ALT による原稿点検
プレゼン原稿の読み練習(ALT による指導)
パワーポイントのスライド作成
クラス内プレゼンコンテスト
1 h
1 h
2 h

●評価の観点

PDF ファイル参照

●クラス内プレゼンテーションコンテストの様子

Call 教室を2分割し、両サイドで2グループ同時にプレゼンテーションを行いました。

ALT のジャッジの他、生徒による相互評価や感想 やアドバイスの記入も行いました。



●各クラスの代表によるプレゼンテーションコンテストの様子



多くの生徒たちが原稿に目を 通すことなく、堂々とプレゼ ンテーションをしていまし た。

パワーポイントのスライドも 随所に工夫が見られました。



●コンテスト後に参加者全員で記念撮影



発表者全員で記念撮影を行いました。

今回のプレゼンテーションは、広い視野と丁寧なリサーチが必要で、固有名詞やその国独自の文化の紹介など、1年生にとっては難しいものでしたが、どのグループもしっかりしたリサーチに基づいた、説得力のあるプレゼンテーションができました。

● 表彰

★★第1位★★

1年4組 Group 6

国:Singapore メンバー:浦野友羽・木宮結舜・成田宗弘・藤原夏海

★第2位★

1年5組 Group 10

国:Ethiopia メンバー:秋本萌々花・小柳佑月・三浦大輝・和田大輝

★第3位★

1年2組 Group 7

国:Central Africa Republic メンバー:稲船悠斗・佐々木れお・堤虹帆・米谷結衣

1年5組

国:Sweden メンバー:岩井冠・鈴木陽大・森竹陵祐・吉田月乃

★オーディエンス賞(生徒投票)★

1年2組 Group2

国: France メンバー: 小川雅史・岸夏海・鶴喰由芽・中松遼哉

※優勝グループ1年4組 Group2 Singapore のプレゼンテーションの発表原稿及びパワーポイントのスライドは PDF ファイルにてご覧になれます。